



日五十二月五年四十四第 (可認物選選三第日一十二月三年五和華)

先廻りの選挙の魔 其手に乗らぬ市民

選挙毎の甘言や物の誘惑に 目をくれずに却て逆捻

今秋九月の縣議選に市區 今から深き心構へとなし家庭
かう一名を出すことになつた
各市の堅固な備への爲め後
平市に於て立候補を意圖する
を負ふに赤誠を捧げてゐる國
某々派の同志等に早くも有権
者達の會安と見るべきもの
や其の準備的運動らしいもの
を行はれてゐる苦々しき行動
あるを心ある市民に指彈され
てゐることは既報の如く其筋
にありてもそれと見るものに
嚴重なる眼を注がれてゐる
が事變下に於ての既往各種の
選挙が何れも醜い競争を避け
られてゐるものに而かも縣議
議員最初の選出に當つて市民
及び他の選挙區から嘲笑を買
ふ某々派等の蠱惑に手段を撰
まざる策動そのものが既に新
平市の代表とするに好ましか
らずとされ彼れ等が従來常套
し來つた選挙毎の甘言と物に
よつて動くであらう選挙區の
輪廓運動、場末有権者の籠絡
に手を伸べはじめた其れが却
つて逆捻的に肅正を叫ばれつ
ゝあるは時局下に目醒めた選
民の眞の聲であるに相違な
く其筋にありても理想選挙の
範を示す好機會として萬全の
努力をなすものゝ如くではあ
るが各市民の自重自戒が何よ
りのものであつて所謂一派等
の議員と稱するものゝ居常を
再検討し前回の縣議選にも
肅正聯盟が掲げられた左記を

飼養管理の腕次第 仔綿羊で「二萬圓」

濱通りの二百八十頭から

濱通り三郡下の綿羊飼養頭數
は石城二五〇、双葉八〇、相
馬五〇計三百八十頭と云はれ
過る軍部の綿毛買上げにも
二二九頭分一千六百圓をあ
げた石城の好成绩を初め相
馬二郡を合せて濱通りの同總額
二千二百餘圓に達したが綿羊
の産仔は飼養管理によること

昨日の俵米共販値 前回より稍々下落

高値は前回と同じだが

石城郡販賣の俵米定期共販は
二十一日のところで都合上昨二
十三日に延期競争入札を行は
れた今回の出荷は總數八百五
十二俵で十五名の入札結果は
左記の如くこれを前回に比す
れば最高値に於て三十四六十
一錢(前回は勿來)は同一だが

支那單語

奉天はフオンテイエン
錦州はチンシエン、承
徳はチオントール、海拉
爾はハイラール、大連
はタリエン、山海關
はシアンハイクワン、
河の名では遼河をリア
オホー、河はホーだ、

海軍各事

艦上講習會

來月十三日の入港に
縣では殊に時局に鑑み青年校
の教育指導者に生徒の教育上
海軍各事に関する一般の智識
を修得せしめ青少年に對し海
軍思想を植へつけ長期建設に
も備ふる爲め來月六月十三日
小名濱港に廻航寄泊の筈であ
る軍艦長艦上にて於て海軍講
習會を開催することになつた
が同講習は午前八時までに乘
艦午後二時までに修了の見込
みで受講者は時局柄多かるべ
きを豫想し來月六日締切を
以て希望者の申込みを受け
てゐる

平三の保護者會 決算と豫算

評議員の決定
平第三小學校児童保護者會で
は今日二十四日午後一時から總
會と児童の學藝會に先立ち昨
二十三日午後一時評議員會を
開き十三年度の決算歳入四千
九百三十七圓九十一錢、歳出
三千九百七十三圓四十五錢、
差引残高九百六十四圓四十六
錢(現款年度繰越)三百六
十七圓十錢(残品價格次年度
繰越)及び十四年度豫算左記
を可決したが歳入の會費は兒
童一三七四人の平均一人當り
二十五錢強十一ヶ月分で歳出

戰地の便り

皇軍將士の意氣
天を呑むの氣慨

留守宅の御配慮感謝

平市新川町出身
佐々木安一

職業紹介所の葉

平職業紹介所編
但し(1)陸海軍々人で現役
中の者(歸休下士官兵は除
く)(2)競争の時とか、今
度の様な事變の時、軍隊に
召集されてゐる者または服
務第一年度の豫備兵、志願
により兵船に編入された者
で豫備役第一年度の者を合
む(3)召集されてゐるもの
者もしくは厚生大臣の指定
する免許を受けたる者

一枚宛の新聞で 六百七十圓

映寫機の購入

現業委員初顔合

三事務所管下の

監督所長會議

縣土木部では來月六月一、二
兩日に亘り千葉市に於て開催
されるが今回の委員會議は過般
改選された新委員の初顔合
せで平縣から左記二委員と立
技隊長も出席した
▲田中忠作 佐藤仙治

平商で時局映画

東京朝日新聞の時局映畫會は
平市商業學校々庭に於て明二
十五日午後七時から催す
こととなる、但し要申告者
を臨時に使用する者(1)
六十日以内の期間を定めて
要申告者を使用する者(2)
使用期間を定めず(3)要申
告者を勞務供給契約に基き
又は試みに使用する者(4)
要申告者の日々雇入れ使用
する者は申告義務者となら
ぬが、然し(1)の場合には六
十日を超え(2)(3)の場合
は三十日を超えて使用する
者は失報し申告義務者とな
る、

左手を轢斷され 頭蓋骨を砕く

石城郡内郷村の白水上川炭礦
トラック運轉手田村郡高瀬村
生れ影山長三郎三三は昨二十
三日午前十一時頃内郷村の小
島地内國道を疾走中同路上に
ゐた付近の幼児佐藤次郎三
男明(五)を轢倒し左手を腕
部から轢斷、後頭部頭蓋骨を
砕き(4)に打碎く重傷を負は
せ被害者は即日平病院に入院
加療中だが生命危篤である

皇軍將士の意氣 天を呑むの氣慨

皇紀二千六百年の記念事業に
映寫機購入の計で一般兒童
から古新聞紙を毎週一、二枚
づつを集めてゐる平第三校で
は既に其の賣却代金六百七十
圓に達してゐるが遮光用の黒
布が時局の影響で意外の高價
となり三、四百圓を要するに
更に一段の努力をなすことに
なつた

保護者會へ寄附

平第三校の保護者會は良好な
法第四條の規定に依つて徴
用されてゐる者、(6)醫師
齒科醫師、藥劑師、(7)獸
醫師、(8)船員法及朝鮮船
員令の船員は要申告者では
ない、
(二)誰が申告義務者となる
か、要申告者本人は勿論、
申告義務者ではあるが本人
の外、本人が厚生大臣の指
定する職業に従事してゐる
場合は其の使用も申告義務
者である、従つて此の場合
は本人と共同で申告する

職業紹介所の葉

平職業紹介所編
但し(1)陸海軍々人で現役
中の者(歸休下士官兵は除
く)(2)競争の時とか、今
度の様な事變の時、軍隊に
召集されてゐる者または服
務第一年度の豫備兵、志願
により兵船に編入された者
で豫備役第一年度の者を合
む(3)召集されてゐるもの
者もしくは厚生大臣の指定
する免許を受けたる者

産業

東北の農村へ

兎肉の加工

(上) 申分のない風味の
ハムとソーセージ

山形縣新庄町にある農林省
積雪地方農村經濟調査所では
近年加工利用の増大されたる
兎肉について「ハム」及び「ソ
ーセージ」の加工試験を行つ
た、其の成績がハムは色彩が
多少淡きに過ぎ外観はあまり
り良好とはいへないが風味に
於ては「ソーセージ」ともに
豚にまさる製品を得た、畜肉
加工品中の最高級品であるこ
の「ハム」「ソーセージ」は一般
には豚肉を原料として造られ
てゐるが最近この豚肉の「ハ
ム」及び「ソーセージ」と稱す
るものでも都會地に於ては二
割以上も他の畜肉を混入して
あるのが普通で、したがつて
之れ等の雜肉混入のものは兎
肉の新しい加工法によるもの
より風味は數等も劣り兎肉も
加工方法の如何によつては捨
てがたい高級品となること
がわかつた、當調査所にはこ
の兎の「ハム」「ソーセージ」の
製造方法を全東北の農村工場
へ指導普及の計畫であるがそ
の製造方法について同所の安
川主任技手は次の如く語られ
た。

ハムの製造方法は屠殺解体
したる兎肉のハム部を先
づ食鹽と硝石(肉一キロに
對して食鹽二十五グラム、
硝石五グラム)をもつて表
面を塗擦して一度放置し血
液を絞りし後に漬液(水三
立に食鹽五百四十グラム共
の他砂糖、香料を少量混入
して煮沸後冷却使用)に漬

け込む、
一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

正確
なる
計量器指定販賣
寒暖計(種各)
平市五丁目角
山野邊藥局

1939を行く

逸品揃ひに

春のシヨール
晴雨兼用傘
春の子供服

各種陳列

ツルヤ

電一四〇

赤外光線治療所開院

電氣化學者藤澤正則先生多年苦心研
究ノ結果發明セラレタル光線治療器
ニシテ一部光線ノ如キ有害ナル炭酸瓦斯ヲ發生セズ
光線溫和ニシテ、人体ニ放射スレバ皮膚ヲ透過シテ作用
ヲ起スノデアリマス、附(カ)アボン太陽器、電磁器、爪光
發生器等ニアラズ)他ノ光線器ト比較シ治療アラン事ヲ
望ム。

適應症

肋膜炎、腹膜炎、腎臓疾患、不眠症、腰痛
肺炎、蓄膿性、中耳炎、扁桃腺炎、貧血症
神經痛、子宮病、痔小瘻、胃腸、便秘、頭痛
呼吸器、高血壓、神經衰弱、痔、淋疾、齒痛
美容術、其ノ他ノ疾患、一度御試シアレ

平市大町新川端
渡邊方 赤外光線治療所
電五六四

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野嘉次
日本齒科醫學士 齋谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義
電話五〇九番
平市田町(松月堂向)

便利で日下家政婦會の

派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
會長 日下すい子

品質高く 價値低く
茶屋商賣
電話 〇五五五 平市城

帝國海上保險株式會社

安田系統の帝國海上
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話二六六番

國民精神總動員

日本國民必見の書

内閣情報部發行

寫真週報

1部10セ

取次致して居ります

西村屋藥局

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

平病院

平市元共濟病院跡
院長 醫學博士 鈴木定藏

- 內科 院長 鈴木定藏
 - 小兒科 院長 土井利明
 - 皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸
 - 物理療法科 院長 鈴木定藏
 - 藥劑科 部長 吉本孝平
- 診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從来す(急患は此の
限りにあらず)

諸毒下り大妙藥 安流丸

平市五丁目角
特約 山野邊藥局

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町一 電話三六九番